

定例研究会

第1回定例研究会のご案内

佐々木 究（京都産業大学）

2024（令和6年）度第1回の定例研究会を下記の要領で開催致します。ふるってご参加ください。

日程：2024年5月25日（土）14:00-16:40
開催方法：オンラインによるリアルタイム配信（zoom）

注意事項：オンライン配信の閲覧情報はメーリングリストで配信します。メーリングリストへの登録をお願いします。会員以外が閲覧する場合は、会員から研究担当にご連絡ください。また参加者は当日実施する出席調査（Google Forms）に記入をお願いします。

【プログラム】

14:00 代表挨拶 深澤浩洋（筑波大学）

14:05 **発表① ワークショップ** 木村はるみ（山梨大学 非常勤講師・身心変容技法研究会）
体育原理のコンテンツ
～「あはひ」の場としての体育原理・・・「修理固成」と「ムスヒの力」～

【概要】

コロナ・パンデミックが終息した世界は、戦争・気候変動・格差社会・災害多発などのニュースが分刻みで動画配信されるようになった。様々な講座・イベントも自宅で参加でき、近親者や友人とのコミュニケーションもラインや SNS などの文字情報で行われるのがあたりまえにもなった。しかしだからこそリアルな身体の意味・意義が問われてもいる。人類の危機の時代、変化の時代に「体育にできること」は何か、安心・安全な教育や未来医療、理想世界の構築にむけて提供できるコンテンツを、ホリスティック医療、防災教育、生態智、ケア学などの「あはひ」から考えてみたいと思う。GW（グループワーク）も予定しています。

15:30 **発表② コロキウム（合評会）** 林洋輔（大阪教育大学）
高尾尚平（日本福祉大学）
根本想（育英大学）

『体育原理』をめぐる論駁と答弁

【概要】

2024年3月末、（株）みらいより新刊『体育原理』が上梓された。本報告は編著者による認可のもと、当該書籍の執筆者3名が各々の担当分の内容紹介ならびに私注を加えた後、この『体育原理』が有する学術的意義と射程をめぐる討議に入る。

今回取りあげる『体育原理』は、主に体育・スポーツ専攻学生が大学内外で学ぶための教科書を意図して編まれている。本報告では「体育原理」分野以来に継がれる教科書（教程）の歴史にも言及しながら議論を興す。

16:35 副代表挨拶 関根正美（日本体育大学）

【問い合わせ先：研究担当】

佐々木究（sasaki9_at_cc.kyoto-su.ac.jp）
阿部悟郎（gr-abe_at_tsc.u-tokai.ac.jp）

*メール送信時は_at_を@に替えて送信してください。